

# 市民政策提案書

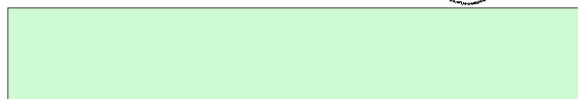
平成 27 年 8 月 24 日

苫小牧市長 岩 倉 博 文 様

氏 名 笹 森 晃



提案者 (代表)



苫小牧市民参加条例第 17 条第 1 項の規定に基づき、次のとおり提案します。

## 1 政策提案の名称

福島県の中学生以下の子供たちのいる世帯の苫小牧移住をすすめる施策

## 2 提案の理由

子供の成長にとって外遊びは欠かせないことです。次世代の子供たちが健やかに暮らせる環境を保障することは大人の責任です。現在、ふるさとの福島県から避難している人たちが全国各地にいます。長野県の松本市長は、ベラルーシで医療活動をされてきましたが、福島の子供世帯に市営住宅を無料で提供し、受け入れています。苫小牧も、その良好な自然環境のもとで子ども達を育てることができるよう援助するべきです。「核のゴミ」の受入れではなく、「非核」の立場から「放射能避難者」の受入れを。

## 3 提案の内容

放射能汚染から避難している、又は今後避難する福島県の中学生以下の子供がいる世帯に、住宅を無料で提供するなどの生活支援を実施して、本市への移住をすすめること。

## 4 予想される効果

放射能汚染から避難を強いられる福島県民に援助の手を差し伸べることができます。また、本市の人口を増やすもので、人口減少対策にも資するものです。

## 5 その他参考資料等



回答期限

平成 27 年 11 月 24 日 (火)